

# 「歩く県道・東松峠（越後街道）」

地域づくりニュース H27 Vol.1

会津若松建設事務所管内の交通不能区間となっている旧街道（東松峠）を「歩く県道」として利活用し、地域の活性化に繋げる取り組みの一環として、街道修繕の実証実験（道普請）を行っています。コンクリートや鉄に頼らず地元で入手可能な材料を用いて、人力で補修することを基本とし、地域の人達や一般ボランティア、関係自治体が一緒になって旧街道の維持・保全に努めています。道普請の取り組みを始めてから約4年が経過し、東松峠を訪れる人が少しずつ増えてきています。今年度も検討会を開催し、旧街道の補修や維持管理の方法、東松峠を利活用した地域づくりについて、地元の人達と共に考えていきます。

## 第1回「歩く県道（東松峠）」地域づくり検討会を開催しました

- ◆日時◆ 平成27年6月15日（月）13時30分～15時30分  
東松振興センターにて
- ◆参加者◆ 東松峠を守る会、高寺地区地域づくり協議会、東北芸術工科大学の学生・教員、会津坂下町、福島県会津若松建設事務所 合計17名
- ◆議題◆ ○現地調査の結果と今年度の道普請について  
○今年度のスケジュールについて



## 現地調査の結果について

6月7日（日）に現地調査を実施し、前年度までに施工した横断側溝や沢留工等の構造物に対する雪の影響や、丸太や杭の腐食の有無、路面の状況等について確認しました。

横断側溝・山側側溝を施工  
（平成23年度）



土砂の堆積が見られましたが、側溝として機能しており、路面は乾燥していました。

沢留工を施工（平成24年度  
施工、平成26年度補修）



沢水による浸食もなく、安心して歩けました。

道幅を広げ、粗朶柵を施工  
（平成25年度）



岩盤で杭が打ち難いため、形状維持のための補修方法が検討課題です。

丸太土留工を施工  
（平成26年度）



中間部は安定していましたが、頂部で土の流出した箇所がありました。

道普請で整備した構造物は、大きな補修が必要と判断された箇所はなく、概ね安定した状態にありました。路面のぬかるみの状態も改善され、路肩も安定し道路形状もしっかりと維持されています。

しかし、雪の影響等により粗朶柵の杭丸太が昨年度より谷側に傾いていたり、丸太土留工に充填した土が流出していた箇所があったので、経過を見て杭の傾きの修正や土留部への砕石の投入など、補修の必要性について検討することとしました。また、横断側溝や土側溝の排水効果を高めるために、側溝内に堆積している土砂や落ち葉を除去するなど、定期的なメンテナンスが必要なことを確認しました。今後も現地の様子を把握し、必要に応じた対策を行います。

## 今年度の道普請について

今年度の道普請実施箇所として、洞門前広場の景観整備と、峠の茶屋に向かう道で岩盤が露頭している箇所（降雨時に滑りやすい）の施工方法等について検討しました。

峠の茶屋に向かう道は県道ではありませんが、ウォーキング大会のルートになっており整備の必要性が高いことから、会津坂下町役場と共催で作業を行うこととなりました。

検討会での主な意見をご紹介します。

### 洞門前の広場について

- ✦ 洞門前の広場は、洞門入口部に堆積している土砂を利用して、腰をかけたたり背中を預けたりすることができるような土塁を作り、訪れた人が休憩できるスペースにする。
- ✦ 広場の入口から洞門までの道筋を考慮し、土塁を線形に沿うように形成し、所々に切れ目を設けて自由に行き来できるようにするのも良い。
- ✦ 案内看板から洞門の方向に一定間隔で丸太を打設した洞門への誘導や、降雨時の水はけを良くするための側溝整備について検討したい。
- ✦ 洞門の今後の活用方法を定めるなど、安全対策も含めて整備の方向性を明確にしたい。



洞門前広場の様子



岩盤が露出している箇所

### 峠の茶屋に向かう道で岩盤が露頭している箇所について

- ✦ 昨年度人力で施工し作業が難航したので、岩盤部の掘削や鉄筋を打設する為の穿孔に、ドリルを使用することも検討する。
- ✦ 路面に、縦半分に切った丸太を一定間隔で平面アーチ状に配置した後、丸太の上から鉄筋を打ち込んで固定し、砕石を充填することで歩きやすくしたい。



峠道に設置されている看板

### その他（道普請のPRや看板の設置について）

- ✦ 道普請への参加について、「コミセン便り」による案内や、消防の分団など呼びかけを行いたい。歩く県道を活かした取り組みをより多くの人に知ってもらうためにも、呼びかけの方法について工夫したい。
- ✦ 看板を設置するにあたり、景観を損なわない色調にしたり、デザインに統一感を持たせたほうが良い。

検討会での意見を基に、土塁の形状や洞門へのアプローチ等について、必要に応じて地元の方たちと相談しながら詳細案により再度検討し、最終的な整備方針を決定することになりました。

また、路肩に亀裂が入り地元の方たちで応急的に補修作業を行った箇所があるとのことだったので、現地を確認したうえで、工法等について検討することになりました。

## 今年度のスケジュールについて

道普請を、平成27年10月10日（土）・11日（日）に実施する予定です。後日、検討会を開催し、道普請の検証や東松峠を活用した地域づくりについての話し合いを行います。多くの方にご参加いただき、一緒に今後の地域づくりについて考えていきたいと思っております。ご協力をお願いいたします。



昨年度の道普請の様子

ご意見・お問い合わせは



福島県会津若松建設事務所 企画調査課

TEL 0242-29-5455

FAX 0242-29-5459